

第7回議会報告会 開催結果報告書

1 開催日時

平成26年5月23日（金） 午後5時30分～午後7時15分

2 場 所

三笠市民会館 101 号室

3 参加者

- (1) 議 員 9名（欠席 猿田議員）
- (2) 市民等 6名（幾春別 1、三笠 4、山の手 1）

4 議会活動報告等に対する質疑応答（主な事項）

(1) 議会活動について

◎ 議会報告会は、毎年同じようなことを行っていて、市民は議会の限界を感じていると思う。市民はテーマを絞って話し合う場がほしい。議会報告会をもう一度見直して、市民と答弁するくらい踏み込まなければ先行きがないと思う。

・ 報告会も今回で7回目であり数的にはこなしているが期待するほど人が集まっていない。反省材料含め報告会のありかたを考えなければならない。テーマを絞ってやればいいのか、議会だよりを全戸配布することも議会報告であるから、そういうことも参考にしていきたい。

◎ 本会議における質問や回答の趣旨、委員会のやり取りを含めて市民に伝えていくことを、全員の役割として行ってほしいと思う。

・ 議会としての報告会は、ある程度限界があるかも知れない。議会で質疑応答した結果があくまで報告であるが、ただ決まっただけの報告ではなく、議員のやり取りでどう決まったのかという報告の仕方を検討していくことで市民との距離感はなくなる思いはある。

(2) 除排雪について

◎ 今年は排雪が1回少なかった。予算が足りなかったためとも聞いたが、1回少ない状況は今後も続くのか。歩道の除雪は15cmを超えた時に入ると聞いているが、10cmの降雪が何日か続いても入っていないし、通常10cmも降ったら歩けないため、車道を歩かざるを得ない状況である。

・ 除雪は市が委託している業者が行っているなので、感度がまちまちである。排雪は、市役所からの指令で行うが回数は決まっていない。除排雪に係る予算が1億7千万円位で、除雪1回の出動で700万円、排雪に2千万円が掛かっている。排雪は市役所が決めるため、どの程度で出動するのかは議会としても見ていく必要がある。

◎ 住宅地の除雪が悪く、高齢者が多く今までと同じ除雪なら対応できないため、ロータリー車で玄関前に雪を置かないような除雪の仕方を考慮してほしい。

・ 除雪の間口を個人住宅だけ便宜を図るようなことはできないので公平にやらなければならない。ここ2、3年の大雪で除雪の問題は議会報告会を行った際にも多く出ており、議会から市への提言として、除雪の問題について取り上げている。

(3) 財政について

◎ 40億にもなる積立金で今後どんな事業を実施するのかビジョンは持っているのか。

・ 財政調整積立金と目的事業積立金の2つに分かれていて、目的事業は将来使う部分が明確であり、桂沢ダムのかさ上げが終わった後の道路改修や公園みたいなものをつくるためである。桂沢観光ホテルが買収されたお金も積立していて目的がはっきりしている部分が20億、財政調整のためのものが17億円である。

◎ 一般会計で毎年1億3千万円ほど残しているようだが、市民からすればインフラ整備、除雪、排雪などをしっかり行ってほしい。貯めるお金があるなら市民に還元すべきでないか。

・ 提言として整理して市に提出したい。

◎ 水道会計の2億4千万円の繰越損益が、なぜこんなにあるのか。水道料金を上げて将来のために備えておくのはいいが、説明しなければ駄目ではないか。また、中心市街地活性化調査は、コンサルの専門家の知識も総動員してやるということだが、商工会と一緒に考える体制が整っているのか。

・ 本管レベルの管がパンクした際に必要になるお金と、桂沢水道企業団の老朽化で耐震基準に満たないため建替えると何億ものお金が発生することから、今の金額でも厳しいと考えている。

・ 中心市街地活性化調査について、コンサルが商工会に意向調査を行いたいとの話は聞いている。それとは別に、商工会長と理事を含め商工会独自で青写真を描きたいと言っている。実際、今年中に商工会の若い担い手の方が中心に進める話が出ているので行政と連携しながら行っていきたい。

(4) 養豚場の悪臭について

- ◎ 連合町内会が中心となり住民の署名を集め、事業者と知事宛てに署名を出したと聞いている。市と北海道を含めた話し合いが行われ、改善するという回答が得られたようだが、なかなか臭いは消えないし、それから3、4ヵ月経っている訳だから、改善したところはどこなのか、また現状の説明会をする必要があると思う。

- ・ 糞尿を溜める場所を増やし、ゼオライトという石を敷き、臭いを防ぐ処置をしている話は聞いている。それがどれだけの効果があるかは確認していないが、効果がどうなっているのかは議会でも求めている。
- ・ 尿処理施設、飼育舎、堆肥施設の対策を行っているが、ことあるごとに行政も事業者にも誠意ある対応として説明会をしろと言っているが対応していない。今後も委員会で行政に求めていく。

(5) その他意見・要望について

- ◎ 大雪で建物倒壊が多いが、建物が残っていることで固定資産税が安く済み所有者の負担が少ないため、半壊しても処理しない持ち主が多い。三笠だけでなく全国的な問題であるため、固定資産税の問題解決について、他の自治体と協同して北海道に働きかけ、三笠市議会としても意見を上げていくべきではないか。
- ◎ 市立高校について、当初から市民に計画のなかで財源がマイナスであると説明してきて、その後聞かされていない部分で財源を追加しているのに一切説明がない。3年経ったのだから経過を含めて行政が当初計画から説明すべきと思う。
- ◎ 市外からきた方に何丁目何番地の家の場所を聞かれたが、全然答えられなかった。市内の道路の角々に何丁目何番地と書いてあるが、他市と比べたら個々の住宅に番地の表記がない。個人住宅に小さなものでもいいから付けられないか。